

第 10 回 探究発展 A SS 授業指導案 (略案)

授業日：9月第2週 場所：(主) 図書館・(副) PC 教室.

1, 本時の目標

- ① 研究仮説の検証方法を理解し、研究計画を立て、研究計画書を完成させる。

2, 本時の展開

時間	項目	生徒の活動	備考
5	導入 (図書館)	① 本時の目標を知る。(5つ) ・仮説の検証方法 ・One Note の整理 ・研究計画立案 ・検証活動の実施 ・教員との One Note 共有 ② 自己評価カードに本時の目標を記入する。	pp.27~35 STEP 7~9 p.63 様式 3
90 (10)	実験室利用 方法の説明 (図書館) 調査活動 4班(5班) →PC 教室 残りの班 →図書館 休憩を 挟んで 場所を交代	① (理系クラス) 各実験室の使い方の説明を受ける ・実験室を使うにはアドバイザー教員の許可を得る。 ・各実験室前の許可証を記入して提出、許可を得る。 ・アドバイザー教員の監督下で実験を行う。 ② 文献調査をしっかりと研究仮説の検証方法を考える。 ・特別な調査活動実施計画書にしっかりと記入する。 ③ One Note をまとめながら思考を整理する。 ・アドバイザー教員とゼミ主担当教員を OneNote 共有招待 ・教員会議でアドバイザー教員が OneNote を見ながら班の 考えていることを説明できるよう情報の整理をする。 ・不要に思える情報でも調べた成果は残しておくこと。 ・資料リストもフォルダに整理しておくこと(5枚以上) ④ 研究計画書を策定する(②ができた班から) ・各項目を具体化しながら策定を進める。 ⑤ 検証活動を行う(③ができた班から)	別紙 p.29 STEP9 p.28 STEP8 p.63 様式 3
5	自己評価	① 自己評価カードを記入して本時の取り組みを振り返る	

3, その他

提出物：様式 3「研究計画書」 〆切 9月 11日 (金)

提出先：(紙媒体) アドバイザ教員→副担任 (紙媒体) 班員全員で持って回らせてください。

(電子媒体)副担任の許可後、班長がメールで担当へ送信 (理系→飯塚、文系→飯野)

〆切後、副担任は各班の研究計画書を保管するとともにコピーをとって KKB に提出するとと

もにテーマを LAN 上に入力 ¥03 2年 SS¥R2 年度課題研究テーマ¥03 研究テーマ¥研究計画書提出時

連絡 : アドバイザ教員とゼミ主担当教員で班の One Note を共有するように招待をさせていただきます。

クラス内の班を 2 群に分け、1 時間ずつ交代で図書室、PC 教室と使い分けてください。

(しっかりと話し合うことと、インターネット情報への過度の依存を防ぐため)

SSH 予算を利用するときは事前に申請してから購入まで 1~2 週間かかるので注意!

どうしても急ぐ場合には KKB 担当者にご相談ください。各班割当の予算は口頭で(^_-)秘